

臨床医学研究のお知らせ

聖路加国際病院では、将来の医療を向上させるため、臨床医学研究を行っています。つきましてはご理解の上、ご協力をお願い申し上げます。なお、個人情報厳重に管理させていただきます。

研究計画や研究方法に関する資料をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体の目的や進行に支障となる事項以外はお知らせすることができます。ご質問がありましたら下記連絡先にお問い合わせください。

この調査では、ご協力を拒否することも自由です。もし、研究へのデータ・試料の利用を望まない場合は、下記の連絡先までご連絡いただくか、医療スタッフへ申し出てください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

【照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先】

住所：〒104-0044 東京都中央区明石町 9-1

電話：03-3541-5151

担当者の所属・氏名 聖路加国際大学 公衆衛生大学院 小林大輝

【研究責任者】

聖路加国際大学 公衆衛生大学院 小林大輝

上部消化管内視鏡検査(胃カメラ)を受けた方を対象とした

ディープラーニングを用いた人工知能による胃がん診断ツールの作成に関する研究

1. 研究の対象

2005年4月1日～2018年10月31日の間に、当院予防医療センター人間ドックを受診し、上部消化管内視鏡検査（胃カメラ）を受けられ、胃の病理・細胞診検査を行った方。

2. 研究の目的・方法

現在、AI（人工知能）を用いた診断補助ツールの作成は世界的に行われていきます。しかしながら、臨床に十分有用な補助ツールは未だ限定的です。今回、上部消化管内視鏡の画像および病理組織検査結果を人工知能に学習させ、胃がんを診断するための補助ツールを作成することを目的とした研究を行います。なおこの調査では、診療録（カルテ）に記載される内容についての調査のみとなります。調査期間は研究倫理審査委員会承認後～2022年3月31日までの予定です。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

主なデータ項目は以下となります。

- 《情報》 カルテ番号、年齢、性別、生活歴、既往症、病理・細胞診検査結果
- 《試料》 上部消化管内視鏡検査の画像、等

4. 外部への資料・情報の提供

- ・得られた情報は聖路加国際病院・大学内でのみ使用し、研究分担者も含め外部への資料・情報の提供はありません。

5. 研究組織

- ・研究分担者：聖路加国際大学公衆衛生大学院 林 邦好
カリフォルニア大学ロサンゼルス校 津川友介